



校長だより 第1号

すてきな島



H26.9.22 日間賀中学校長 井本 仁

●今号のことは●

「ありがとう」の一言は、
どんな心もやわらげる。
(医師・作家 斎藤茂太氏)

早いもので、私がこの日間賀中学校に赴任させていただいて、5ヶ月が過ぎました。この間、いろいろな経験をさせていただいたのですが、いつも保護者の方や地域の方が助けてくださり、本当にありがたいなあと思うことばかりです。すぐにこの日間賀島が大好きになりました。そこで、本校では前任の河合校長先生も発行しておりましたが、日間賀中学校の生徒のがんばりやさまざまな取り組み、そして、私が校長として生徒たちに話したことなどについて、保護者の皆様にお伝えしていこうと考え、学校だより「ながみね」とは別に「校長だより」を発行していきたいと思えます。

なお、このたよりの名前は、「すてきな島」とさせていただきます。日間賀島はすてきな島です。この島のすばらしさを私自身もっともっと知りたい、また、そのすばらしさを日間賀中の生徒にもきちんと知ってもらいたい、という思いを込めてこの名前にしました。

■半田祭での活躍

新チームとしての初めての大きな大会である半田祭が始まりました。すでにバスケット部とバレー部の大会が行われました。夏休みの練習の成果をしっかりと発揮し、両部活とも試合に勝つことができました。また、バレー部は第3位に入賞しました。おめでとうございます。あと、卓球部の半田祭はこれからなので、全力を尽くしてがんばってほしいと思えます。



■小中合同「読み聞かせ」の会

9月9日、日間賀小学校、日間賀中学校合同の「読み聞かせ」の会を行いました。これは小中連携の取り組みの一つで、朝の読書タイムの時間に、日間賀中学校の生徒が日間賀小学校に行き、児童に対して読み聞かせを行うというものです。小学生は、中学生の読み聞かせをしっかりとした姿勢で聞いており、とても立派でした。中学生にとっても小学生にとってもよい経験となりました。

■イルカふれあい体験

今年の夏も日間賀島にみえたたくさんの観光客が、イルカふれあい体験を行ったと思いますが、本校でも9月10日に、1年生を対象として行いました。生徒たちはスタッフの方のお話をよく聞き、普段なかなかできない体験をすることができました。



■日間賀島地区敬老会での和太鼓演奏

9月11日、日間賀小学校体育館にて、日間賀島地区敬老会が行われました。この敬老会に、日間賀中学校の全生徒も参加して、和太鼓を演奏しました。一生懸命に、練習した成果を発揮することができ、たくさんの方に喜んでいただくことができました。

こんな話をしました

「感謝」「思いやり」の気持ちをもって（9月1日 2学期始業式の話より）

2学期が始まりました。日間賀中の生徒全員が、大きなけがや病気もなく、本日全員がそろったことは、とても嬉しいことです。だれもが命を落とすことなく、健康で元気に生活できることは、当たり前のことですが、本当に大事なことです。さて、この夏休みの間にすばらしいあと感じるものがたくさんありましたが、そのうちの一つを紹介します。

今年、日間賀の盆踊りに初めて参加したのですが、とても驚きました。小中学生から二十歳前後の若者、そして年配の方まで、とてもたくさんの人たちが生き生きと踊り、大変盛り上がっていました。地域がまとまり、このような盆踊りを行えるところはそうはありません。本当にすばらしいと思いました。

漁業が盛ん、観光が盛ん、島の人々のあたたかさ。日間賀はすばらしいところです。みなさんは今はあまりわからないかもしれませんが、中学校を卒業して、後になってから、このことがよくわかると思います。このようなすばらしい島になったのは、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんなど、島の方々が、いろいろなことに感謝の気持ちを持ち、相手を思いやる気持ちを持ちながら、頑張っているからです。日間賀中の生徒のみんなにも、ぜひ、「感謝」「思いやり」の気持ちを持ちながら、この2学期も、勉強や部活など、自分ができることを精一杯頑張ってください。

気持ちのよい「あいさつ」を（9月8日 朝会の話より）

2学期が始まり、1週間がたちましたが、いいスタートがきれたでしょうか。この土日には、バスケットボール部の半田祭があり、私も応援に行きましたが、みんなとてもがんばっており、いいプレーをたくさん見ることができました。今後、バレー部や卓球部も半田祭に向け、しっかり練習をして、当日がんばってほしいと思います。

さて、今日は、「あいさつ」についての話をします。改めて聞くまでもないかもしれませんが、なぜ、あいさつをする方がよいのかわかりますか。たとえば、初めて会った人に対して、あいさつがきちんとできるか、できないかでは、第一印象が大きく違ってきます。あいさつがきちんとできる人とできない人では、どちらがよい印象になるかは言うまでもありませんね。

また、あいさつをすることによって、人間関係は必ずよくなるものです。私には子どもがいますが、子どもに対して、もちろんすごく叱ることがあります。そして叱っても態度が悪いときなど、私自身すごく腹が立って、当分子どもと口をききたくないということもよくあります。でも、翌日の朝には必ず、しっかり「おはよう」とあいさつをするようにしています。（正直なところかなり我慢しながらですが・・・）そうすると、不思議と何となく関係が戻ってきたり、よくなってきたりするのです。特に話をするのがなくても、あいさつを続けてすることは大切だなと思います。

それでは、あいさつはどんなあいさつがよいのでしょうか？よく「大きな声で、明るく元気よく」と言われることもあると思いますが、ぜひ、あいさつは少し声のトーンを上げるとよいです。それだけでかなり印象は変わってきます。先ほど、みんなが体育館に入場する時に、生徒会の役員の人たちが、みんなに対してあいさつをしていましたが、みんな声のトーンを高くして、気持ちのよいあいさつをしていました。さすがですね。

最後に、一つ注文です。先ほどの生徒会の役員の人たちのあいさつに対して、みんなはしっかりあいさつができましたか？残念ながらできていない人が多いです。あいさつをしてくれて、それを返すのは当然。お互いに気持ちよくあいさつをし合えるようになってほしいと思います。